



いつの間にか季節は秋になり、朝晩冷え込むようになってきました。9月の4連休が終わり、「Go Toトラベルキャンペーン」による人の動きや経済活動の再開が、今後の新型コロナウイルス感染者の増加にどのように影響してくるのか、注視していかなければなりません。

新型コロナウイルスについての情報発信を続けている、京都大学 iPS細胞研究所の山中伸弥教授は、ソーシャルディスタンス(Social distance)を「思いやりの距離」と訳しています。この言葉には、新型コロナウイルスは感染しても無症候や軽症が多いという特徴があり、自分自身が感染しているかもしれないという前提で、お互いに周りの人を気遣い、思いやる行動が大切であるというメッセージが込められています。さらに、山中教授は、マスク着用の必要性を強く訴えています。「正しい行動を粘り強く続ければ、ウイルスとの共存が可能となります。自分を、周囲の大切な人を、そして社会を守りましょう！」と訴えています。

季節が秋冬に向かい、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の流行がどのようになっていくのか、心配の種は尽きませんが、学校においても、子どもたちが充実した学校生活を送ることができるように、〈ソーシャルディスタンス〉、〈マスクの着用〉、〈うがい手洗い〉、〈咳エチケット〉、〈こまめな換気〉、〈十分な睡眠〉という感染症対策の基本を徹底し、自分自身の健康管理に対する意識や周りの人を思いやる行動を指導していきます。各ご家庭におかれましても引き続き、子どもたちへの温かい励ましとともに、健康管理や感染予防対策などご協力のほどよろしくお願いいたします。

校内陸上記録会 ～より速く、より高く、より遠くへ～

本年度、大飯郡小学校連合体育大会が中止となりましたが、9月30日(水)に高浜小学校独自で、高浜町陸上競技協会や高浜公民館の方々のご協力を得て、校内陸上記録会を開催しました。

これまで子どもたちは、この記録会に向けて、朝練習や4年生から6年生までの合同体育などで懸命に練習に励んできました。おかげさまで今日は、その練習の成果もあり、子どもたち一人一人が、成長している自分を実感することができる大会となりました。

また、1年生から3年生の子どもたちもグラウンドに駆けつけてきて、「チーム高小」を懸命に応援してくれました。陸上記録会を間近に見た1年生から3年生の子どもたちは、「4年生になったら、500mに出場したい。」「私は、リレーの選手になりたい。」「僕は、100mで一番になりたい。」など陸上に対する意欲も高まったようです。例年は、大飯郡小学校連合体育大会を見ることができず4年生になって初めて参加するので、今年の記録会は、1年生から3年生にとっても、大きな学びを得たようです。高浜町陸上競技協会や高浜公民館の皆様には、子どもたちのために、大会当日、審判員として、大会運営を支えていただき、ありがとうございました。保護者の皆様には、平日の開催でお忙しい中ご来場いただき、子どもたちの一生懸命に頑張る姿を見ていただきありがとうございました。



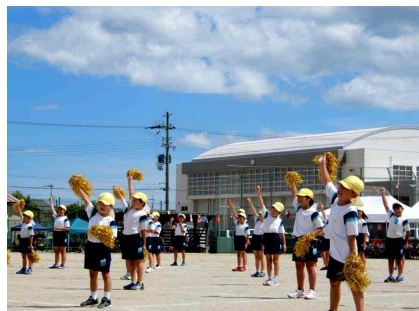
パワー全開！ 一人一人が全力を出し切り、光り輝いた体育大会

爽やかな秋晴れのもと、9月12日(土)に校内体育大会を行うことができました。大会テーマ「4色の花！パワー全開！」の通り、パワー全開で、仲間と共に活動することによって得られる喜びや充実感、みんなで力を合わせて一つのことを成し遂げる達成感など、心と体で感じ取れた体育大会となったと思います。

今年の体育大会は、新型コロナウイルス感染症と熱中症の予防対策として、開・閉会式を短縮し、午前中のみで開催としました。児童用テントは、例年の2倍の数を設置し、座席の間隔を広くとり、待機中はマウスシールドを装着するなどの対策をとりました。また、フィールド内に描いた3mの方眼マスを基準として、距離をとってマスゲームや組体操、応援などを行いました。さらに保護者の皆様にもご協力をいただき、当日は、検温等の健康管理をした上で感染対策実施中のリストバンドを装着していただき観戦をしていただきました。

子どもたちも様々な制約のある中、その状況を十分に理解し、限られた条件の中で、力を合わせ、知恵を絞り、心をつ一つにして取り組みました。大会当日まで6年生が中心となって、感染症予防対策を考慮し、応援内容の検討をしたり、練習方法を工夫したりするなどリーダーとして積極的に取り組むことができました。4年生や5年生もそれをバックアップしようとする姿勢がうかがえました。1年生から3年生の児童もリーダーの話をしっかりと聞いて、集中して応援練習を行うことができました。また、大会前日に行った「開会セレモニー」では、全校生徒の士気を高めるサプライズを行ったり、後日行った表彰式では、各色のリーダーから全校児童に向けて感謝のメッセージをオンラインで伝えたりするなど6年生は、終始リーダーとして活躍していました。

子どもたちは、今年の体育大会の取組を通して、一回りも二回りも成長したように感じます。「みんなと心をつ一つにし、力を合わせれば、素晴らしいものができる」ことを実感できたと思います。「どんな困難も工夫して、みんなで力を合わせれば乗り越えられる。」「努力した甲斐があった。」など、この体育大会で得た「自信」をこれからの学校生活の中で生かしてほしいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様には当日ご来場いただき、子どもたちのがんばりに対し、温かい声援や拍手をいただきありがとうございました。



ネット依存・ネットトラブルから子どもたちを守る

厚生労働省によると、病的なインターネット依存が疑われる中高生が5年間でほぼ倍増し、全国で93万人に上ると推計され、これは中高生の7人に1人にあたるといことです。ネット依存は、インターネットやSNS、オンラインゲームなどを使いすぎる状態で、日常生活にも支障が出て、暴力や引きこもり、うつ病などを引き起こす恐れがあります。また、SNSやオンラインゲーム等のチャット機能を利用した悪質サイトへの誘導、ウイルス感染、詐欺などのトラブルも数多く報告されています。さらに、子どもたちの間でこうしたチャット機能を使った発言のやりとり(激しい言葉づかい、暴言)やアイテムの交換などによるいじめや金銭トラブルも報告されています。

今は、パソコンやスマホ、タブレット、オンラインゲーム機等の普及により、非常に便利な時代となりましたが、どのようにネットとつきあい、依存やトラブルを防ぐか、これからも考えていかなければなりません。特に、子どもたちにとって身近なオンラインゲームやSNSなどについて、ご家庭でもお子さんと話をしていただき、家庭でのルールづくりをお願いいたします。